

校長先生の初恋物語

第49話 ジャイアンは悪くない

きのこ君がせっかくがんばってかいた絵は、汚れた水ににじんで消えてしまいました。それどころか、きのこ君は、かみの毛も、服も、ズボンも、いすも机もすべてびしょぬれ。きのこ君は全身びしょぬれになりながら、絵がきたがようしを悲しそうに見ていました。

ひどいことをしておきながら、ジャイアンは笑っていました。そして、どうどうと自分の席に戻っていきました。

あまりにもひどすぎるジャイアンのいじめ。クラスみんなは、さすがにおこりました。

最初に向かっていったのは、学級委員の足長君です。

「ジャイアン、なんてひどいことするんだよ。きのこ君の絵が、だいなしじゃないか。」

向かってきた足長君を、ジャイアンは軽々と持ち上げると、ぽいっと捨てて

しまいました。

次は、空手の達人、きんに君も向かっていきました。

「きのこ君にあやまれだちょーっ。」でも、きんにくもりもりのきんに君であっても、ジャイアンにはまったく勝てません。きんに君も、ジャイアンにおもいきり投げられていました。

正義感の強いちん君は、ジャイアンを止めようと近づいていきました。



「ジャイアン、やめなよ。」でもジャイアンはちん君もふっとばします。かわいそうに、体の小さなちん君は、かべにげきとつするくらいふっとばされてしまいました。

そんなちん君の姿を見て、この人がだまっています。クラスで一番の力持ち、ダンプさんです。これまで、ジャイアンにたいこうできたのは、ダンプさんだけです。

ダンプさんがジャイアンに向かっていきました。ジャイアンとダンプさんは、がっぷり組み合いました。まるで、大相撲の、北の湖と輪島を見ているようです。

「のこったー、のこったー。」コージ君がふざけて言っていました。

「いいかげんに、やめなさい。」

いつもおだやかなによろひげ先生が、めずらしく声を上げました。めったにおこらないによろひげ先生も、このじょうきょうに、かんかんになっていました。

床にたおれていた足長君やきんに君が立ち上がりました。かべにへばりついていたちん君も、立ち上がりました。ダンプさんと、ジャイアンはようやくはなれました。

きのこ君の席では、ぞうきんを手にしたよしこさんが、いっしょうけんめい水をふいていました。よしこさんはなぜか、泣いていました。かんじんのきのこ君はぼーっとすわったままでした。



次回予告

ジャイアンは、によろひげ先生をむしして、教室を飛び出して、どこかにいってしまいました。教室がようやく静かになったその時、とっくんはおもわずさげんでしまいました。

「ジャイアンは悪くない。」その言葉に、みんながおどろいてしまいました。



とっくんなんて、大嫌い